



子育て情報紙 第10号

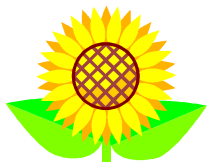
社会福祉法人 曾於市社会福祉協議会 平成 26 年 7 月 25 日

あっぴっぴ

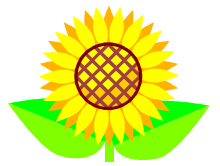
日本の人口は、平成 17 年に減少局面に入り、少子化問題は、社会経済の根幹を揺るがしかねない課題となっています。

子どもは社会の希望であり、未来の力です。次代の社会を担う子どもを安心して生み、育てることができる環境を整備し、子どもたちが健やかに育つことができる社会の実現のために、市町村はもとより各種団体も積極的に子育て支援への取り組みを行っています。

今回は、子育て支援に取り組んでおられる大隅中央幼稚園の子育てネットワーク『ひまわりっ子』を紹介します。



子育てネットワーク「ひまわりっ子」



子育てには、いろいろな悩みや苦労がつきものです。子育てについてのいろいろなお話、またお友達作りのために参加なさいませんか？

ご近所で、新たにお子様連れで転勤をして来られたご家庭、また小さなお子様がいらっしゃるご家庭がありましたら、お誘いください。(大隅中央幼稚園以外の方でもかまいません)どなたでも参加できます。皆様のご参加を心よりお待ちしております。



【応急手当の講習会の様子】

開催日： 毎月第3木曜日 10:00~12:00

月によっては開催日時が変更になる場合がありますので、必ず事前にお電話でご確認ください。

会場： 大隅中央幼稚園 2階ホール

対象： 0~6歳の未就園児さん及び保護者
幼稚園の保護者

世話役： スタッフ4名(幼稚園保護者OB)

基本プログラム ① ふれあいタイム(自由遊び)

② 受付(ネームはり)

③ 遊具のお片付け

④ 出席しらべ

⑤ お誕生日 おめでとう!

⑥ みんなで歌おう!「今月のうた」

⑦ ハンドゲーム

⑧ 今月のメイン行事

⑨ 園長先生の「一ロアドバイス」

⑩ ふれあいタイム





熱中症にご注意を！



この暑い季節になると、良く耳にする「熱中症」。
熱中症とは、高温や高熱にさらされるため、体温調節がうまくできなくなり、急に高熱がでたり、意識不明におちいつたりする病気です。
今回は、熱中症の予防と対処法についてお知らせします。

こんなことで熱中症を予防

- ① 外出先や外遊びの時は、涼しい場所での休憩をはさみ、子どもの顔色や汗のかき方を観察しましょう。
- ② こまめに水分補給をしましょう。
- ③ 汗を吸収しやすい綿素材の衣服、熱がこもらないゆったりした衣服を選びましょう。
- ④ 戸外では帽子をかぶり、光を吸収する黒っぽい服装は避けましょう。

熱中症ってどんな症状

- ・ふだんより元気がない。
- ・汗が止まらない。
- ・目がうつろになる。
- ・顔や体が赤い、熱い。
- ・顔色が悪い。
- ・呼吸が速い。

もし熱中症かなと思った時は・・・

- ① 涼しい場所に移動しましょう。
- ② 衣服を緩め、頭、首、わきの下、足の付け根などを氷枕や冷たいタオルで冷やしましょう。
- ③ スポーツドリンク等で水分・塩分を補給しましょう。



こんな時は、大至急119番を！！

- ・水分がとれない。
- ・名前を呼んでも反応がない。
- ・体が、ガクガクとひきつけを起こしている。



車内は高温になり危険です！

この季節になると、悲しい事故が起こっています。
「エアコンがついているから・・・」「ちょっとの間だから・・・」「子どもが眠っているから・・・」と、車内に子どもだけ残していませんか？
弱い陽射しでも、想像以上に車内の温度はどんどん上昇します。もし、エアコンが切れてしまったら車内の温度は50度以上になってしまうこともあります。少しの時間でも、子どもを車内に置いていくことは大変危険です。悲しい事故が起きないように「ちょっとだけだから・・・」と、子どもを車内に置いて行かないようにしましょう。

